

本調査

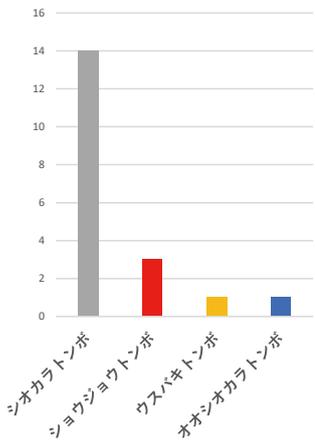
8月に企業・市民・専門家・教育機関・行政が協働で実施している調査。各調査地点3回実施。

- ①マーキング種数と頭数
- ②トピック（各調査地の代表者がコメント）



* 縦軸は3日間合計の捕獲個体数

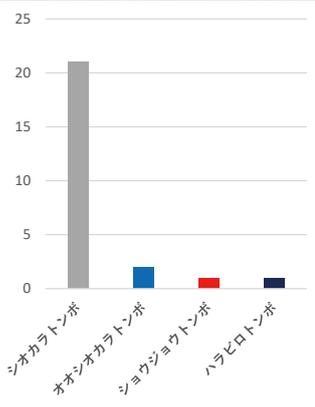
東芝エネルギーシステムズ株式会社 京浜事業所



①4種 19頭
②調査中トンボに翻弄される人間たちを、大きなヒキガエルが見守っていました。この10年で色々な生き物が増えてきたようです。



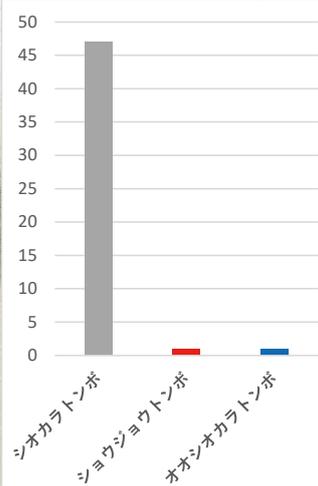
株式会社 JVC ケンウッド



①4種 25頭
②本調査地点では初となるハラビロトンボを捕獲しました。目視のみですがギンヤンマも確認でき、現れるトンボが変わってきた様に感じます。



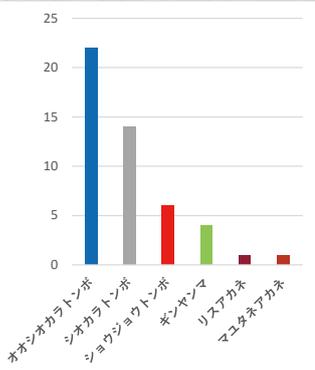
キリンビール株式会社 横浜工場



①3種 49頭
②アメリカザリガニの影響により捕獲個体数が減少しましたが、今後もビオトープを整備し、生態系ネットワークの強化を図ります。



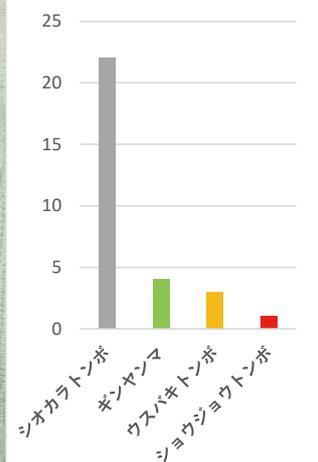
株式会社 JERA 横浜火力発電所



①6種 48頭
②多くのオオシオカラトンボが確認されました。調査中、ギンヤンマがショウジョウトンボを捕食する姿を見ることができました。



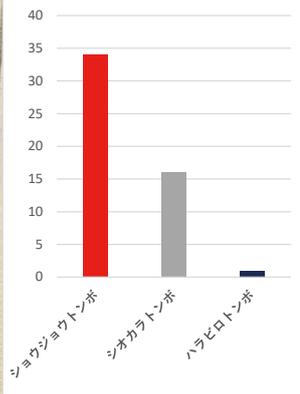
JFE エンジニアリング株式会社 横浜本社 JFE トンボみち



①4種 30頭
②トンボ池へ工業用水補給、日よけなど水不足に悩まされた夏でしたが、調査は周辺企業や市民の方々の協力で例年どおり実施できました。



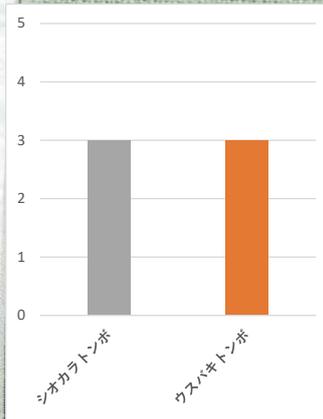
横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校



①3種 51頭
②理科調査研究部の中学生を中心に調査を行いました。草木の上で休んだり、水辺に卵を産みつけたりしている様子が見られました。



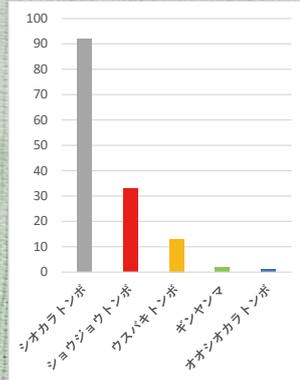
マツダ株式会社マツダ R&D センター横浜



①2種 6頭
②捕獲困難なロケーションでも、皆さんが辛抱強く、時間いっぱいまで奮闘してくださり、「2種確認」という嬉しい結果になりました。



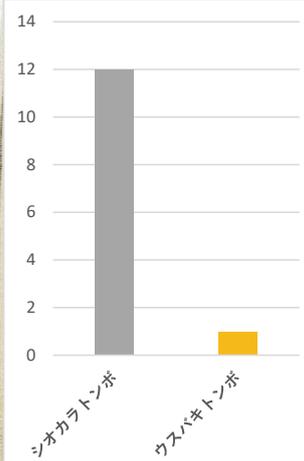
貨物線の森緑道



①5種 141頭
②シオカラトンボの 90頭以上の捕獲で新規捕獲は過去最高。チョウトンボも目視で確認。マルタンヤンマはヤゴの確認のみ。



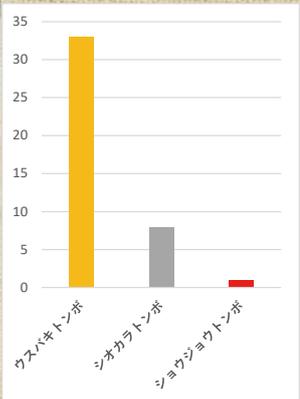
国土交通省横浜港湾空港技術調査事務所



①2種 13頭
②人工干潟周辺での調査。頭数は少ないですが、緑地や建物の陰に水溜まりとして大型水槽の設置等の工夫を進めています。



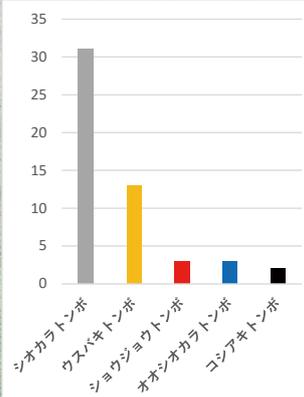
入船公園



①3種 42頭
②水辺はありませんが、草はらと木々が若いトンボに食事と休憩を与え、生育の場所になっています。



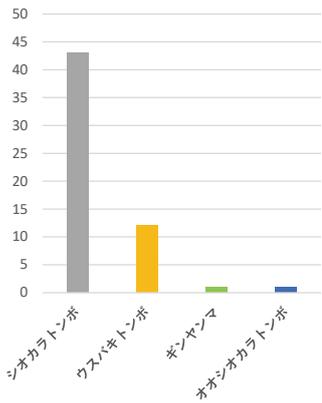
北部第二水再生センター



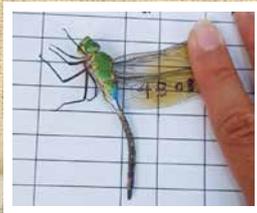
①5種 52頭
②暑さのせいか例年より全体的に飛来数は少ないですが、昨年度捕獲できなかったコシアキトンボが捕獲できました。



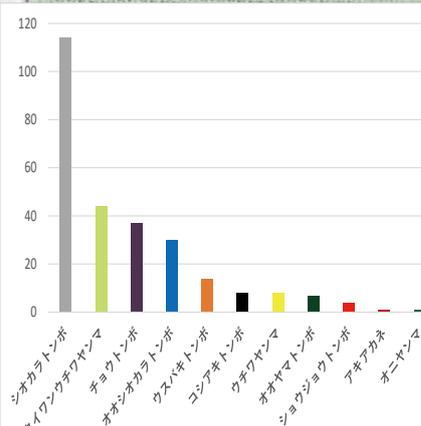
SMS ばいくショップ



①4種 57頭
 ②毎年 3 日間トンボ捕りをして、何年かになります。毎年毎回トンボの種類が変わるのが、不思議でなりません。これからの地球、気候変動はどうなっていくのでしょうか。とても心配ですね。



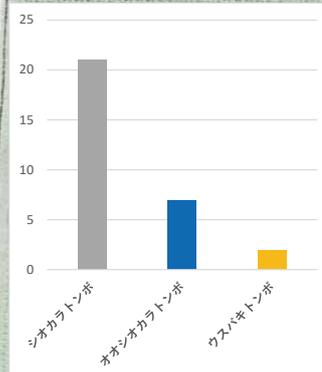
三ツ池公園



①11種 268頭
 ②今年度もジュニア調査員たち若い人が大活躍してくれて、珍しくて素早いトンボたちを上手に捕まえてくれていました。



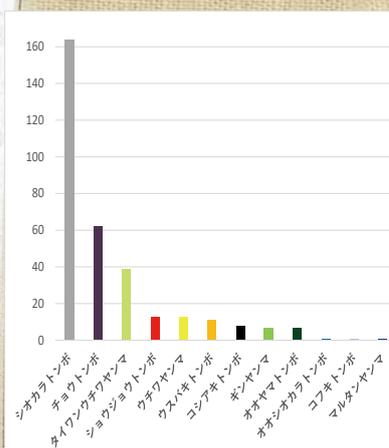
東横フラワー緑道



①3種 30頭
 ②臨海部と内陸部つなぐ緑道では今年もギンヤンマの飛来が確認されました。隣接した金比羅神社の池には今年も多くのトンボが飛来し、街中の産卵場所となっていました。



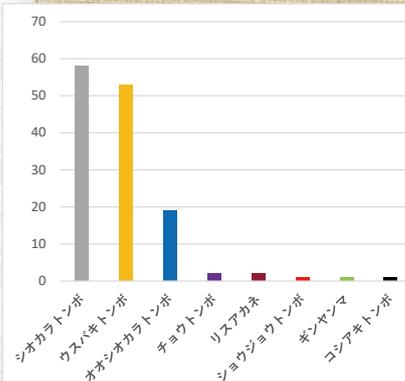
ニツ池



①12種 327頭
 ②8/20 にマーキングしたウチワヤンマが約 30km 離れた舎人公園にて再捕獲されたことにより、ニツ池が生物の供給地であることが再認識されました。



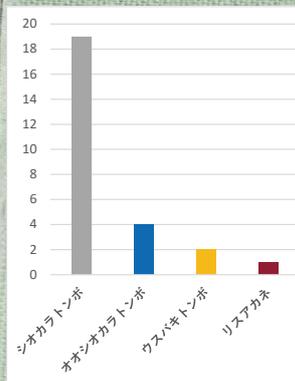
本牧市民公園



①8種 137頭
 ②昨年より1種増えましたが、頭数は少し減りました。トンボは身近な昆虫であり、三溪園と繋がる大きな池がある当公園のシンボリックな存在です。当公園の池の水は天水によるもので、自然と一体となっている環境です。やはりギンヤンマがかっこいいです



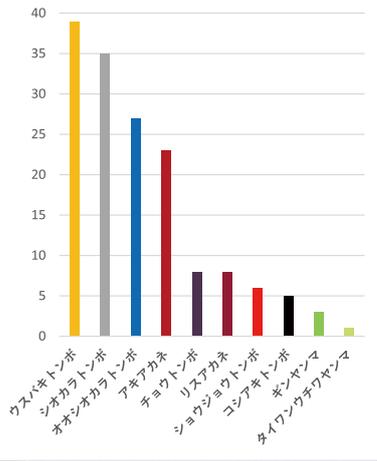
高田池



①4種26頭
 ②初日は天候が良く19頭、2日目は途中雨模様で3頭の捕獲でした。3日目にはリスアカネを捕獲しました。リスアカネは昨年3日間同個体が再捕獲されたこともあり、この場を住みかとしているのか、来年の調査に期待します。



本牧市民公園

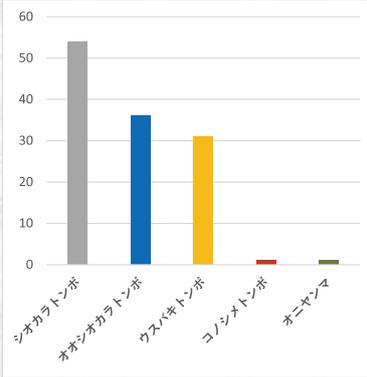


- ①5回(スタッフ調査2回含)
- ②66名
- ③10種 155頭
- ④今年はシオカラよりもウスバキトンボが一番多く確認できました。子ども達が虫捕り網を持って走る風景は微笑ましく思います。子ども達はトンボの持ち方に慣れてきています。チョウトンボがいると嬉しいです



トンボの産卵環境を創出しています

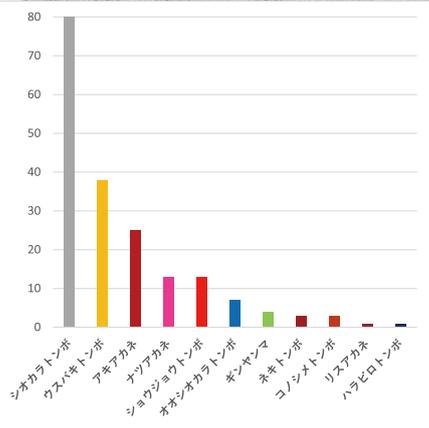
富岡総合公園



- ①5種 123頭
- ②本調査8月の3日間実施した。夏場とのことでオオシオカラトンボ、シオカラトンボが多く捕獲された。



根岸森林公園



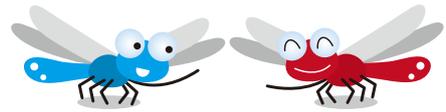
- ① 5回 (スタッフ調査1回含)
- ②99名
- ③11種 196頭
- ④毎年恒例の行事となり子どもたちをはじめ多くの皆さまが心待ちにされ参加していただいています。



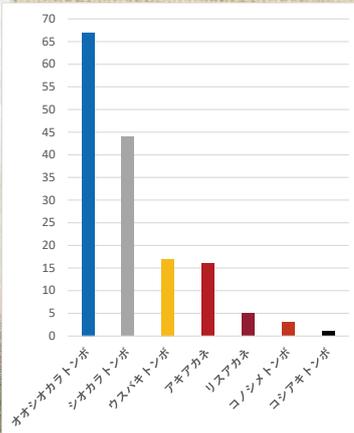
トンボとり大作戦

子どもたちにトンボの生態や地域の環境を知ってもらうために実施している調査。6月から10月まで実施しており、調査回数は各調査地点で異なる。

- ①調査回数
- ②参加人数 (子どもおよび保護者のべ人数)
- ③マーキング種数と頭数
- ④主催者コメント



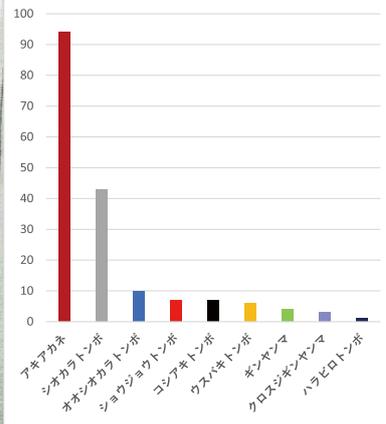
富岡総合公園



- ①5回
- ②69名
- ③7種 154頭
- ④天候に恵まれトンボとり大作戦は全日開催できた。特徴としてはコシアキトンボ、コノシメトンボ、アカアカネが捕獲されました。



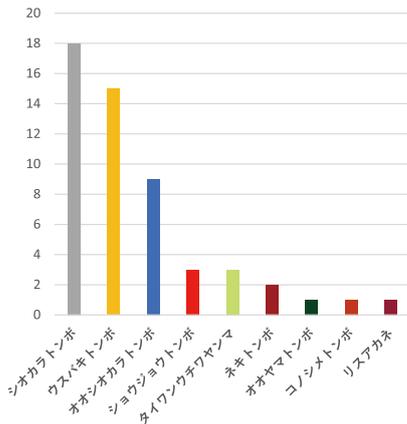
JFE エンジニアリング株式会社 横浜本社 JFE トンボみち



- ①10回
- ②85名
- ③9種 175頭
- ④全国的には数を減らしているアカアカネですが、嬉しいことに昨年同様たくさんやって来てくれました。



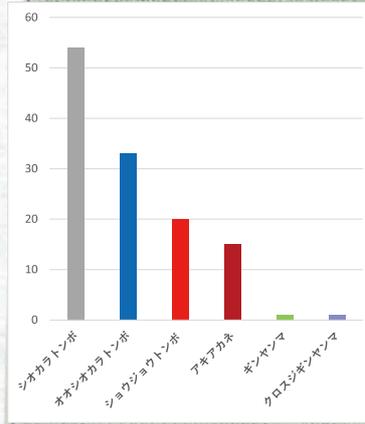
三ツ池公園



- ①1回
- ②9種 53頭
- ④普段の活動団体に加え、一般参加の子どもたちも加わり、トンボの調査を通じて交流がうまれました。



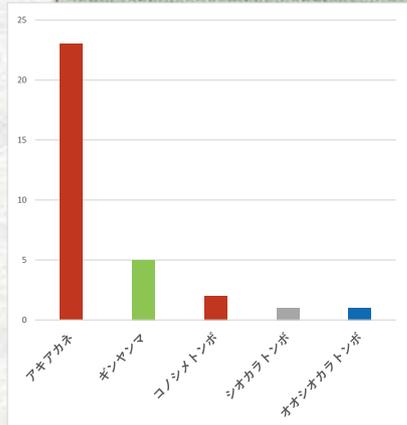
長浜公園



- ①5回 (スタッフ調査1回含)
- ②146名
- ③6種 124頭
- ④例年シオカラトンボやショウジョウトンボがメインで捕獲されますが、今年度(7月)はクロスジギンヤンマが捕獲出来ました。



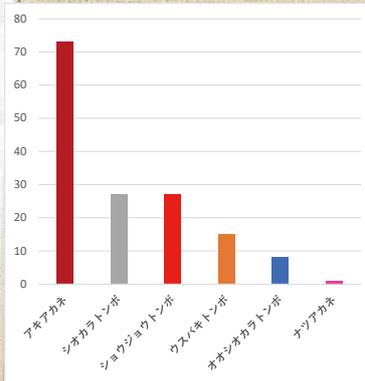
白幡池公園



- ①1回
- ②46名
- ③5種 32頭
- ④今年度は白幡池公園愛護会と共催で実施。区内の小学生を中心に23人の子どもたちが参加。アキアカネを多数捕獲。



貨物線の森緑道



- ①4回
- ②20名
- ③6種 151頭
- ④10月にアキアカネを多数捕獲。ナツアカネも捕獲。時間外にマユタテアカネも確認。今年もジュニア調査員が大活躍。

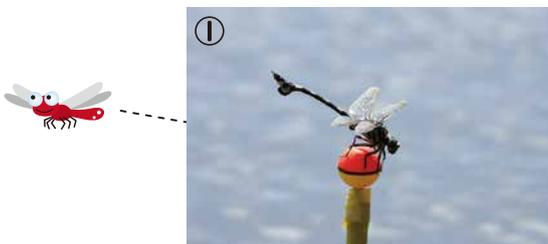


移動個体



2023年度「トンボはドコまで飛ぶかフォーラム」標識による直接移動確認記録

種類	雌雄	マーキング日	マーキング場所	再捕獲(確認)場所	再捕獲(確認)月日	日数	移動距離	再捕獲者	個体番号
①ウチワヤンマ	オス	8月20日	二ツ池	東京都立舎人公園	8月30日	10	32.6	渡辺 浩	0F159
②シオカラトンボ	オス	8月19日	二ツ池	鶴見区鶴見中央2丁目13-9	8月29日	10	3.1	稲田 巧	9F155
③ショウジョウトンボ	メス	9月10日	貨物線の森緑道	JFEトンボみち	9月30日	20	1.4	工藤祥真	C906



撮影 渡辺 浩氏

